

消化のプロセスを経なくても栄養が吸収できる「栄養スープの素」

※この解説書をご熟読のうえご使用ください

「具合が悪い時は、消化にエネルギーをまわさず、治癒にエネルギーをまわす事が重要です」

■消化は、体力を消耗する？

「食べ物を消化する」ことは、ものすごくエネルギーが必要な活動だということをご存知ですか？自然界の動物たちは、具合が悪くなると葉っぱを食べて、一番最近に食べたものを吐き出し、断食をして身体を休ませるのです。しかし、そのことはあまり知られていないのが事実ですので、ペットさんの具合が悪くなった時、食べたがらないペットさんに無理矢理食べ物をあたえると、かえって身体に負担がかかり、更に状態を悪化させてしまう場合があります。「病気の時は、栄養たっぷりの食事とって休む」というのが一般的な考えですが、実際には身体に多くの負担をかけてしまう可能性も大きいのです。

■内臓を休ませる？

サプリメントで、日々体内のデトックスを促すことも必要ですが、さらにその効果を引き出すためにやっていただきたいのが、「内臓を休ませる」ことです。内臓を休ませるのに最も効果的なのが、週に1度の断食や、1日1食の半断食です。普段からの小食もお薦めですね。ただし、水分摂取不足による脱水症状は、体力の低下をもたらしますので、内臓を休ませつつ、水分・栄養補給もできる「栄養スープの素」を摂取しながらの断食は、元気な子にも体調が良くない子にもお薦めです。水分摂取量が増えるとオシッコの量も増えるので、体内の老廃物も排泄されやすくなります。

■肝臓の解毒機能を高めるには

例えば「肝臓の解毒機能」を高めるにはどうしたら良いですか？というご質問をよくいただくのですが、肝臓は、「解毒」だけでなく、「小腸で吸収された糖分・脂肪分をエネルギーに変えて貯蔵」したり「脂肪の消化に必要な胆汁を生成」したりと、食べ物を食べることによって「解毒」以外のお仕事が増えてしまいます。ですから、肝臓の解毒機能を高めるためには、「肝臓を休ませる」ことが重要になってくるのです。

■解毒の効果を高めるには

デトックスの効果があまり感じられない場合、「血行が悪くないか」「身体が冷えていないか」確認してみてください。適度な運動やマッサージで血行をよくしたり、身体を温める食材の生姜や紫蘇を栄養スープにプラスして身体を温めるように心がけてください。

■栄養スープの素は『万能スープ』

病気の時は、食べないで集中して治癒を進めて、早く治してしまう事が最善策なのですが、病状が長引く場合、治癒に使うべき体力も落ちてしまうことも現実問題です。また、食べたがらないといって何も与えないと、極度の脱水を起こす場合もありますので、非常に危険です。栄養スープの素を上手に使って、体力の消耗と脱水を防ぎましょう。消化による体力消耗をふせぎ、内臓を休ませる事で解毒機能の回復が期待でき、水分摂取量を増やすことでデトックス促進と脱水による体力低下を防ぎ、そのうえ『栄養が吸収できて体力がつくものがあったら…』とずいぶん欲張っていましたが、これらの全てできるのが「**栄養スープの素**」なのです。**【栄養補給・体力の回復・解毒の促進】**が同時進行で行える万能スープなのです。

栄養スープの素は「多大なエネルギーが必要な消化のプロセスを経なくても、栄養の吸収がスムーズにできるうえに、不足しがちな水分補給もできる」ことが最大の利点なのです。「栄養スープの素」は、「多大なエネルギーが必要な消化のプロセスを経なくても、栄養の吸収がスムーズにできるうえに、不足しがちな水分補給もできる」ことが最大の利点なのです。

- ◆食欲がない時のエネルギー補給
- ◆病中・病後の回復期に
- ◆解毒に必要な水分とエネルギーを補給
- ◆内臓を休ませて解毒機能を高める

毎日の栄養補給はもちろん、手術後や食欲がない時にもおすすめの万能スープの素です。ぜひ、毎日の手作りごはんにプラスしてみてください。

■ご使用方法

基本的な量は、150cc～200ccのお湯か水に大さじ山盛り1杯(5～10g)を溶かしてください。もっと薄くてもかまいません。ペットさんのお好きな濃度を探してみてください。作り置きした場合、2日程度で使いきるようにしてください。直接おじやに混ぜてもかまいませんし、ドライフードやいつものごはんにはスープをかけたり、飲み水の変わりに与えても結構です。